

# 2026年 第55回 日本童謡賞

一般社団法人日本童謡協会は、こどもの歌の振興を図るため制定した『日本童謡賞』の第55回贈呈者を下記の通り決めました。

- ◆日本童謡賞（賞状、盾、賞金10万円）
  - ・新沢としひこ
- ◆日本童謡賞・新人賞（賞状、盾—ジャスラック賞—）
  - ・人見敬子詩集「魔法のトビラ」（四季の森社 刊） 人見敬子
- ◆日本童謡賞・特別賞（賞状、盾）
  - ・NHK AM「マイあさ！」童謡コーナー
  - ・長谷川久美子
- ◆日本童謡協会 奨励賞（賞状）
  - ・藤脇千洋（日本童謡協会作曲会員）

## <贈呈理由>

### ◆日本童謡賞

#### 新沢としひこ

童謡こどもの歌は日本固有のこどもの文化として創る人から伝える人へ、そして受けとめるこどもたちへと時を超え豊かな伝承をつづけてきた。それは創り伝える人たちの技だけではなく「こども」への深い愛と確かな理解が支えてきたからであろう。

シンガーソングライター新沢としひこ氏は童謡こどもの歌の創造・伝達の二つの系を個で担う極めて「こども」に近い存在として活躍している。育った家庭環境から豊かな感性が生まれ、表現の才能が刺激され、こどもを見る目の確かさが生まれそれらが現在の氏の活動の根幹にあるものと考えたい。

近年 全国で精力的にコンサート・研修会を開催して人々の感動を呼び、さらにさまざまなメディアにも登場し創ること、歌うことの楽しさを伝え続けてきた氏の活躍とその功績に対し日本童謡賞を贈呈する。

（早川史郎 記）

### ◆日本童謡賞・新人賞

#### 人見敬子詩集「魔法のトビラ」（四季の森社 刊） 人見敬子

詩集「魔法のトビラ」が2026年の日本童謡賞新人賞となった。どの詩にも作者の思想が込められメッセージ性の高い詩集になっている。目標を正確に捕え表現力も豊か。視野は壮大で宇宙、地球、自然、生命の賛歌、反戦への思いなどが綴られ少年詩集として高評価を得ている。今後は童謡詩集として元気な子ども達の息遣いが感じられるこどもの歌を拝見したいと思う。

感動した「キャンディー」の詩が童謡となって今生きるこども達の歌声になることを期待して日本童謡賞新人賞を贈呈する。

（佐藤雅子 記）

## ◆日本童謡賞・特別賞

### NHK AM「マイあさ！」童謡コーナー

NHK AMで放送されている「マイあさ！」では、月に一度「童謡特集」のコーナーが放送されている。童謡歌手の大和田りつこ氏が、アナウンサーとともにキャスターを務め、童謡を解説、紹介している。令和2年から始まり、現在7年目となる番組である。現在、童謡を主とした番組は、ラジオ、テレビともに少なくなっており、貴重な存在になっている。

この番組の素晴らしいところは、懐かしの童謡に限らず、新作童謡を積極的に紹介していることで、童謡が過去のものではなく、未来につながる大切な文化だとの主張が一貫している。また「童謡コンシェルジュ」と名乗る大和田りつこ氏の、童謡への深い理解と情熱も感じられ力強い。これからも、童謡の素晴らしさを広めていく番組として放送がいつまでも続くことを望んでやまない。

(新沢としひこ 記)

### 長谷川久美子

長谷川久美子氏は本協会の作曲会員として毎年の童謡祭において魅力あふれる作品を発表されており、さらに北海道を拠点として創作活動を展開し、童謡を広く発信している。

2025年8月には、谷川俊太郎氏の詩によるア・カペラ作品集「せんはうたう」を出版され、その楽譜は速度記号や曲想、強弱記号をあえて記さず、演奏者が自由に表現を楽しめるよう工夫された、極めて独創性の高いものとなっている。さらに同年11月には、氏の作品によるコンサートを開催するなど、精力的な活動と童謡普及活動を展開された。

これらの顕著な業績と優れた音楽性、そして北海道から全国へと童謡音楽の新たな魅力を発信し続けてこられた功績を高く評価し、今後の一層の発展を期待して日本童謡賞・特別賞を贈呈する。

(三平典子 記)

## <日本童謡協会 奨励賞>

この賞は、令和3年度より新設されたもので、その地に根ざす文化所産に対する強い思いと、童謡への深い愛情とその業績に対して贈られます。

## ◆日本童謡協会 奨励賞

### 藤脇千洋

広島県福山市を拠点に保育者養成に尽力しながら、長年にわたり日本童謡協会の会員として、子どもの純粋な感性をとらえた歌から叙情歌に至るまで、数多くの童謡の創作活動に真摯に取り組んでこられました。とりわけ、2025年に地元で開催された「藤脇千洋 どうようコンサート2025」においては、多くの仲間に関わりながらこれまでのたゆまぬ研鑽の成果を存分に披露され、世代を越えた童謡文化の普及と発展に多大な貢献を果たしました。この意欲的な活動を高く評価するとともに今後のさらなるご飛躍を願い、ここに日本童謡協会奨励賞を贈ります。

(アベタカヒロ 記)

<日本童謡賞選考委員会>

委員長 早川史郎

委員 アベタカヒロ 大竹典子 坂田おさむ

佐藤雅子 新沢としひこ 中村守孝

三平典子 宮中雲子

## <受賞者略歴>

### 新沢としひこ

1963年東京生まれ。クリスチャンで幼児教育に携わる仕事をする両親のもとで育つ。

特に、下町の教会の保育園の園長だった父親の影響を受ける。学生時代より音楽活動を始める。

保育の仕事をしてながら、「こどものうた」の創作、ライブなどを続け、音楽を使った保育講習会の講師となり、全国を回るようになる。現在は、音楽事務所アスク・ミュージックの代表となり、講習会やコンサート活動。創作、執筆、CD制作など、さまざまな分野で活動をしている。

作詞の代表作に

「世界中のこどもたちが」「にじ」（作曲・中川ひろたか）「さよならぼくたちのほいくえん」（作曲・島筒英夫）

作曲の代表作に「はらぺこあおむし」（作・エリック・カール）

作詞・作曲の代表作に「バナナくんたいそう」「みちくさ」などがある

近年はNHK「おかあさんといっしょ」で楽曲が歌われている。「みちのマーチ」「おふろのおゆさん」「ピンチピンチマーチ」など。

### 人見敬子（ひとみけいこ）

東京都生まれ。北里大学卒業。都立研究所勤務を経て、童謡・詩の創作に入る。

#### 【受賞歴】

1991年「ビタミンマンがやってくる」（詞・曲）で第7回三木露風賞ノミネート賞受賞。

1993年「スケッチブックの空を」で第60回NHK全国学校音楽コンクール課題曲歌詞募集小学校の部入選。

1995年「シンカバブ」（詞・曲）でクレヨンハウス第5回「こどもたちの歌」入選。

1997年「雪の子守歌」（詞）で「ふるさと」音楽賞日本創作童謡コンクールグランプリ受賞。

#### 【出版】

2007年 詩集『方舟地球号一いのちは元気一』銀の鈴社刊

2013年 合唱曲集『西澤健治コーラス・セレクション 生命が羽ばたくとき』（全曲作詞）音楽之友社刊

2025年 詩集『魔法のトビラ』四季の森社刊

作品は「新しい童謡集」「コーラス展」（日本童謡協会）、「月刊 教育音楽」（音楽之友社）、「ざわざわ」（四季の森社）等から発表。音楽教科書にも掲載されている。

【所属団体】日本童謡協会（理事）日本音楽著作権協会 日本児童文学者協会 草創の会

### NHK AM「マイあさ！」童謡コーナー

NHK AMのニュース情報番組「マイあさ！」では、毎月最終金曜日、今年度は最終日曜日の午前5時台で「童謡コーナー」（約10分間）を放送しています。

ゲストに歌手の大和田りつこさんをお迎えし、『春が来た』など、誰もが知っている懐かしい歌から比較的新しい楽曲まで、毎回テーマにちなんで数曲紹介しています。また、大和田さんとキャスターのほっこり楽しいトークもコーナーの魅力です。最近は「りつこのワンポイントコーナー♪」も始まり、上手に童謡を歌うためのコツ、腹式呼吸にキャスターが挑戦。大和田さんの優しくキレのある指導も楽しみです。みんなで挑戦した輪唱『かえるの合唱』は、まさに、「童謡コーナー」のハイライト！2020年に始まったこのコーナーは、ことし7年目を迎えました。回を重ねるごとにリスナーの反響も増してきて、いまや、「マイあさ！」の看板コーナーです。今後も、楽しく朗らかに「童謡コーナー」をお届けします。

### 長谷川久美子（はせがわくみこ）

札幌在住。五歳からピアノ、十二歳から作曲を始める。二十代で「季刊童謡」に出会い童謡の楽しさを知る。ピアノ指導、演奏活動を業とし、童謡・歌曲・ピアノ曲・連弾曲・管弦打楽器曲を作曲。これまでに「NHK あなたのメロディー」「日本航空・空の音楽祭」他に出演。「ピティナ新曲課題曲賞」「TIAA 全日本作曲コンクール室内楽部門入賞」「北海道の作曲家展」出品、「作品リサイタル」「ODN うたのひろば」開催。出版は、こどものためのピアノ曲集「しあわせのおと」、「しあわせのうた」および「コーラス編」、独唱および合唱のための三つの作品「歌をください」作詩：星乃ミミナ、谷川俊太郎の詩によるアカペラハーモニーブック「せんはうたう」

札幌大谷短期大学音楽科卒業・専攻科・研究科・作曲科目等履修・修了。作曲を木村雅信氏に師事。現在 howkid's 音楽館主宰。日本童謡協会、全日本ピアノ指導者協会、北海道作曲家協会、各会員。

### 藤脇千洋（ふじわきちひろ）

日本童謡協会作曲会員。

広島大学教育学部音楽科卒業。

広島県立大崎高等学校勤務を経て福山市立女子短期大学保育科教授、付属幼稚園長を務め、退職後広島大学教育学部非常勤講師として70歳まで勤務。

和声学、対位法は入口程度だったが、付属幼稚園長在職中に本格的に童謡作曲を始め、日本童謡協会に入会。地元のコーラスに所属し、ピアノ伴奏とコーラスの流れを聴く機会に恵まれた。付属幼稚園児や保育科学生たちとの楽しい思い出を胸にこれからも童謡作曲を続けていきたいと思う。